

## 03 上郡山地区

## …いつも大勢大家族サロン！上郡山いきいきサロン萩の会

開催日（開催頻度）	月 1 回（毎月第 2 日曜日）
開催時間	10：00～12：00
参加費	200円
運営財源	サロン助成金、参加費、老人クラブ長命会からの助成金



新年会・みんなで大合唱



地域づくり勉強会の様子

平成 10 年、萩の花が咲く頃に「萩の会」として設立。当初は女性ばかり数人での集まりだったが、現在は上郡山地区の協力を得ながら、健康づくり体操、詩の朗読、ビンゴゲームやカラオケ、講師を依頼しての講習会などで楽しんでいる。特に忘年会・新年会では長命会と共催してアルコールも提供し、大いに盛り上がる。地域には芸の達人が多く、サロンは皆さんの発表の場にもなっている。会員制ではないので、多数の参加を呼び掛けており、いつも 50 名以上の参加がある。今後も地域と連携しながらサロンを継続させ、地域の支え合い・助け合いを忘れずに大切にしていきたい。

## ●最近の悩み事

参加者の高齢化で、なかなか次の担い手がないこと。参加人数が多く昼食作りの責任者も必要。老人クラブからの助成がなければ、なかなか厳しい。

サロン代表 高原 博(カハラ ヒロ)

## …♪上郡山地区の「ここがポイント!!!」♪…

- ① 世帯数の多い自治体だが、二つに分けて運営しつつ、サロンは協同。地域での交流を体切にしている。
- ② 自治会や老人会がサロンにうまく関わっており、夫婦での参加を呼び掛けるため、男性陣の参加者も多い。
- ③ サロンは持ち芸の発表の場として、参加者それぞれの役割にしている。
- ④ 「上郡山ふれあい花壇」では小さな子供から高齢者まで幅広く活動に参加しており、皆で一服する時間を設けている。地域のコミュニティのひとつとなっている。
- ⑤ 自治会に「社会福祉部」を設けている。部員は自治会役員、民生委員、地域住民で構成。通常のご近所付き合いを縦と横に連携し、常に情報を共有することで、手厚い「見守り」活動が実現できている。実際に一人暮らし高齢者の異変に気付いた近隣から、社会福祉部員の民生委員に通報、すぐに状況を把握し病院へ緊急搬送、入院の手続き、入院中のお世話を経て無事退院、元気に地域へ戻られたケースもあった。
- ⑥ 介護保険サービスに関わる専門職、病院、行政と地域のつながりも必要だと認識し、社会福祉部員の民生委員も必要に応じてそのネットワークに入り、情報交換・情報共有を図っている。



社会福祉部委員会の様子

# 04 川原子地区

## …パワーあふれる老舗サロン！ 川原子交友会



開催日（開催頻度）	月1回（土日のいずれか）
開催時間	10:00～12:00
参加費	年2,000円
運営財源	サロン助成金、参加費、各々の持ち寄り



祝サロン開催、かんぱ～い！



まさに老若男女そろって勉強会

老人会からの発足で、53年もの大変長い歴史があるサロン。月に1度のお茶会、日帰り湯治、1泊旅行、忘年会、新年会などを企画してメンバー全員で楽しんでいる。春祭りや盆踊りでは地域と協力して、実行部隊の中心となって盛り上げている。集落を狙う特殊詐欺などの犯罪を予防するため、自治会とサロンが共同で講習会を開き、地域での防犯と見守りの大切さを皆で再確認している。地元にはあじさいロードやきつね村など見どころが多く、各地から見学者が訪れる。川原子を好きになって何度も足を運んでもらえるように、公園やあじさいなどは、サロンメンバーも多数参加して整備している。「いつまでも元気で、自分たちでできることは自分たちでやっぴいこう！」と幅広く楽しみながらパワフルに活動している。

### ●最近の悩み事

農業や酪農などの担い手が減り、皆会社勤めになった。高齢者ばかりが残り、次の担い手や入会者がなかなか増えない。

サロン代表 鈴木 閑(双キツカ)



## …♪川原子地区の

### 「ここがポイント!!!」♪…

- ① あじさいを手入れする「あじさいを愛する会」は男性陣が多く活躍しており、力仕事を担当、女性陣と上手く連携している。自分たちが担い手なのだとしっかり認識し、90歳、80歳を超えてなお役割を持つことが「元気の源」となっている。
- ② 高齢化により独居世帯が増えてきているが、長年の近所付き合いで、日頃から「助け合い」「見守り活動」が成立している。降雪量が多い地域でもあるが、一人暮らし高齢者が孤立しないように協力して支え合っている。
- ③ 「サロン」や「あじさいを愛する会」などが、この地域で「互いに元気であることを確認できる場」「地域住民の健康・安全のためにも貴重な活動の場」であるとし、代々、自治会長は積極的に応援、継続できるよう惜しみなくサポートすることが自然に受け継がれている。
- ④ あじさいの株分けなどで近隣の地区とも交流があり、互いに情報交換・情報共有して地域活動に活かしている。
- ⑤ あじさいの丘を皆で整備し、いつかここで産直ができれば・・・などの夢もある。まちづくり交付金を利用し、看板作り、見学者の休憩場所作りなどに活用している。



あじさいの手入れ中での一休み

【編集後記】今回から1つでも多くの地域の情報を発信していきたいと、この「まちしるべ」はコンパクトなミニ情報誌になりました。皆様からの情報をお待ちしております。  
発行元：社会福祉法人白石市社会福祉協議会 地域支援係 佐野、山家